

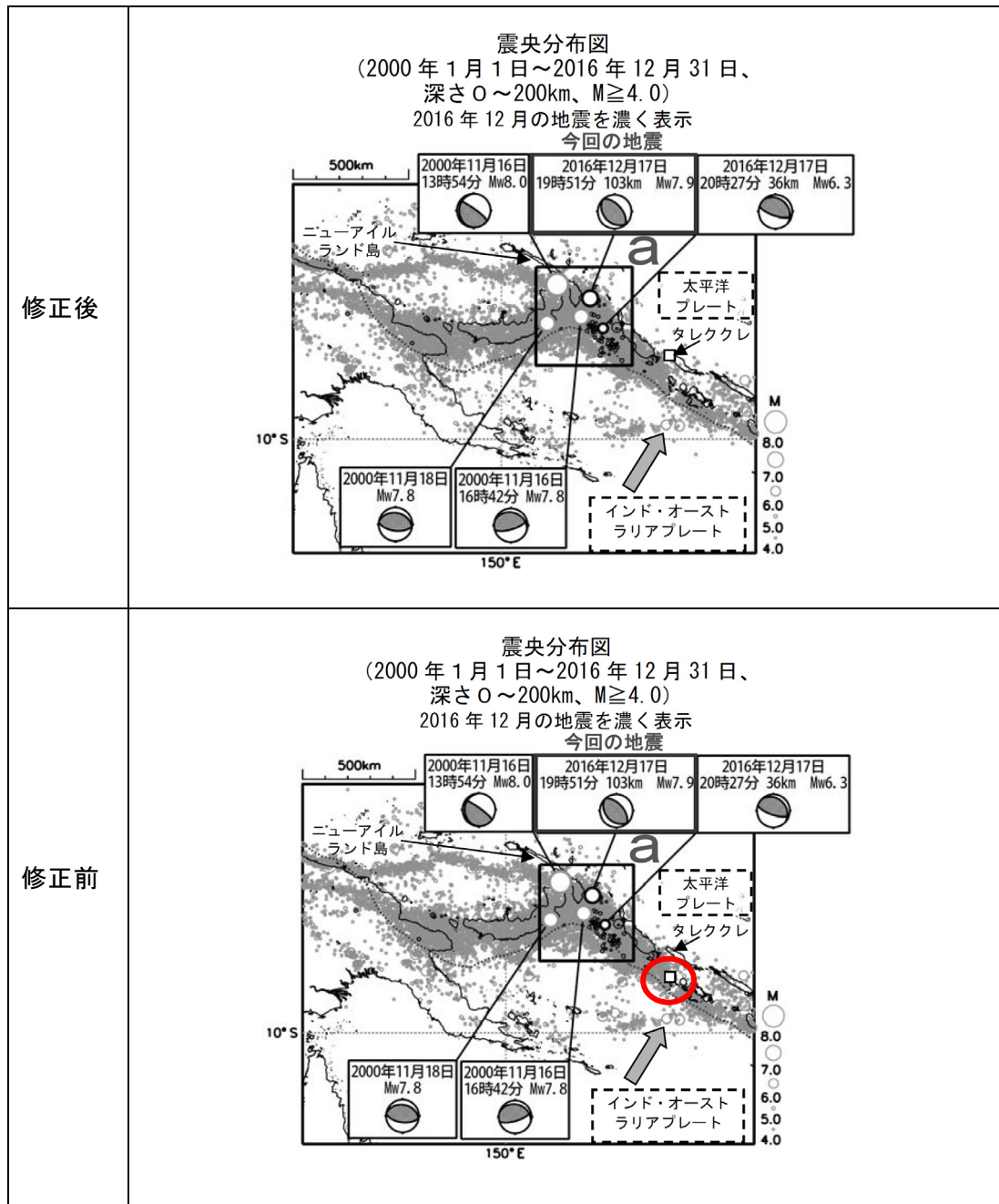
● 正誤表

平成 28 年 12 月の地震・火山月報（防災編）に誤りがありましたので、正誤表を掲載します。

平成 28 年 12 月地震・火山月報（防災編）

55 ページ 12 月 17 日 パプアニューギニア、ニューアイルランドの地震

震央分布図 赤枠内の津波観測点（ソロモン諸島のタレククレ）の位置（□）を修正



平成 28 年 12 月 地震・火山月報（防災編）

53 ページ 12 月 7 日 インドネシア、スマトラ北部の地震

注釈 下部注釈中の用いたデータの引用元を修正

| | |
|-----|--|
| 修正後 | ※本資料中、震源要素及び今回の地震の Mw 及び発震機構は USGS による。2012 年 4 月 11 日の地震 (Mw8.6) の Mw 及び発震機構は気象庁、2004 年 12 月 26 日の地震 (Mw9.1) の M は理科年表、その他の地震の吹き出しの Mw 及び発震機構は GlobalCMT による。 |
| 修正前 | ※本資料中、今回の地震と 2012 年 4 月 11 日の地震 (Mw8.6) の Mw は気象庁、2004 年 12 月 26 日の地震 (Mw9.1) の M は理科年表、その他の地震の吹き出しの Mw は GlobalCMT による。震源要素及び今回の地震の発震機構は USGS による。その他の地震の発震機構は GlobalCMT による。 |

149 ページ ● 平成 28 年（2016 年）の世界の主な地震

本文 本文中の回数及び表現を修正（下線部を修正）

| | |
|-----|--|
| 修正後 | <p>2016 年（以下、日本時間を基準とする）に人的被害^注を伴った地震は <u>12</u> 回（2015 年は 28 回）であり、<u>Mj</u>（気象庁マグニチュード）もしくは Mw（モーメントマグニチュード）7.0 以上の地震は 18 回（2015 年は 17 回）であった。また、<u>Mj</u> もしくは Mw8.0 以上の地震の発生はなかった（2015 年は 2 回）（図 1 及び表 1 参照）。</p> <p>2016 年に世界で発生した地震のうち、最も規模の大きかった地震は、12 月 17 日にパプアニューギニア、<u>ニューアイルランド</u>で発生した Mw7.9 の地震（図 1 中の 26）であった。</p> <p>USGS の統計によると、M8.0 以上の地震の年間発生回数の平均は 1 回、M7.0～M7.9 の地震の年間発生回数の平均は 15 回であり、2016 年の地震発生回数は平年並であった。</p> <p>以下、死者が 100 人を超える海外の地震について記述する。</p> |
| 修正前 | <p>2016 年（以下、日本時間を基準とする）に人的被害^注を伴った地震は 11 回（2015 年は 28 回）であり、M（気象庁マグニチュード）もしくは Mw（モーメントマグニチュード）7.0 以上の地震は 18 回（2015 年は 17 回）であった。また、M もしくは Mw8.0 以上の地震の発生はなかった（2015 年は 2 回）（図 1 及び表 1 参照）。</p> <p>2016 年に世界で発生した地震のうち、最も規模の大きかった地震は、12 月 17 日にパプアニューギニアニューアイルランドで発生した Mw7.9 の地震（図 1 中の 26）であった。</p> <p>USGS の統計によると、M8.0 以上の地震の年間発生回数の平均は 1 回、M7.0～M7.9 の地震の年間発生回数の平均は 15 回であり、2016 年の地震発生回数は平年並であった。</p> <p>以下、死者が 100 人を超える海外の地震について記述する。</p> |